

平成28年度 青少年問題を考える地域懇話会

当協会では、市町村民会議の活動を支援するため、地域の青少年問題について、有識者と地域の活動指導者が意見交換等を行う「青少年問題を考える地域懇話会」を開催しています。平成28年度は遠別町（11月）、北見市（2月）の2箇所、それぞれの青少年育成市町村民会議と共催して開催しました。

【遠別町】テーマ「子どもたちの豊かな心を育てるために」

～青少年育成指導者のスキルアップをめざして～

- 日 時 平成28年11月19日（土）
- 場 所 遠別町生涯学習センター
- 共 催 遠別町青少年育成委員連絡協議会
- 後 援 遠別町教育委員会
- 話題提供・助言者

「子どもの豊かな心を育てるために

～青少年育成指導者のスキルアップをめざして～

北海道教育庁生涯学習推進局生涯学習課

ネイパル深川グループ社会教育主幹 薄葉 康 氏

留萌教育局社会教育指導班主査 爲広 千里 氏

- 意見交流コーディネーター

●概 要

話題提供では、はじめに、リーダーと全体との関係づくり、グループ内の関係づくり、一人一人との関係づくりなどのアイスブレイクを通して心をひらき、仲間同士の心を繋ぐことを実体験しました。その後、豊かな心を育てるために何故、体験が必要なのかということ、体験活動に関する実態調査をもとにクイズ形式で考えるなど、次の意見交流につながるようなお話をしていただきました。

意見交流では、参加者が3つのグループに分かれ、「子どもたちの体験活動の大切さ」をテーマに、①今の子どもたちができなくなっていること、②子どもたちにどのような体験を提供したいかについて交流しました。全体発表では、自分たちが子どもの頃と比べて、今の子どもたちは様々な体験や問題解決ができなくなっている。それは、親ができなくさせているからだということに気付いてほしいなどの意見が出されました。

薄葉氏からは、体験が豊かな子は自己肯定感が高い傾向がある。世の中の風潮として「子どもが失敗しないように、危なくないように体験させる」ことが多い。むしろ、「失敗しても大丈夫なように体験させる」のが、これからの体験のキーワードとなること、子どもを育てるときに大人一人では育てられないので、何人もの大人で支えること、体験する場をつくるために地域が結束することが大切という助言をいただきました。



【北見市】テーマ「地域の子どもの守り育てよう

～実践するため大人ができること～

- 日 時 平成29年2月8日（水）
- 場 所 北見市民会館
- 共 催 北見市青少年健全育成推進会 きたみ地域子ども会育成連絡協議会
- 後 援 北見市
- 話題提供・助言者

「絆ネットでいじめ自殺のない社会の実現を」

NPO法人学校の底力 理事長 岩岡 勝人 氏

- 意見交流コーディネーター オホーツク教育局社会教育指導班 主査 風間 直樹 氏

●概 要

話題提供では、学校でのいじめ撲滅に向けて活動するNPO法人「学校の底力」理事長の岩岡氏が、「いじめ」は大人社会のひずみの結果であること、いじめ・自殺は殺人であり、絶対あってはならないこと、子どもが荒れる原因は食生活などにも原因があること、「いじめ」は全員が被害者だと指摘、だから、「つながる力」「つながり合う力」を育てることが大切という話がありました。

意見交流では、参加者が4人一組のグループになり「今、子どもたちに足りないものは何か、それを補うために、地域で大人は何をすべきか」というテーマで意見交流をしました。

各グループからは、子どもたちに必要なこととして「コミュニケーション」「居場所」「あいさつ」、大人としてできることとして「交流の場づくり」「厳しく温かい目」「笑顔で挨拶する」「大人同士がつながる」「つながる楽しさを見せる」などが挙げられ、活発な交流がなされました。参加者からは、「地域が絆を強め、協力していくことが大切だと改めて感じた」という感想もありました。

岩岡氏からは、「ダイヤモンドの原石は、ダイヤモンドでしか磨けない。同じように人の成長も、人との関りでしか成長しない。そのことを皆さんが地域の方に伝え、子どもたちを守り・育てるために、実践・行動してほしい。」という助言をいただきました。

